

# 2025年度 国際交流基金地球市民賞 応募ガイドライン

The Japan Foundation Prizes for Global Citizenship 2025 Guideline

地域から世界へ、世界を身近に



みなさまからのご応募・ご推薦をお待ちしております

(自薦・他薦問わず最大5件まで)

授賞件数

3件以内

締切

2025年7月23日(水) (郵送の場合は当日消印有効)

授賞内容

正賞(賞状)と副賞(1件200万円)

発表

2026年1月中  
国際交流基金ウェブサイトにて発表

お問合せ

送付先

国際交流基金 ブランド推進部 広報課 地球市民賞担当  
〒160-0004 東京都新宿区四谷1-6-4 四谷クルーセ  
Tel 03-5369-6075 Eメール chikyushimin@jpf.go.jp

応募ガイドライン  
応募用紙

<https://www.jpf.go.jp/j/about/citizen/guideline/>



JAPAN FOUNDATION  
国際交流基金



# 2025年度国際交流基金地球市民賞 受賞候補団体を募集します

国際交流基金地球市民賞(以下、地球市民賞)は、1985年に創設され、本年度で41年目を迎えます。  
全国各地で国際文化交流活動を通じて、日本と海外の市民同士の結びつきや連携を深め、  
互いの知恵やアイデアを交換し、ともに考える団体を応援します。  
これまでに124の団体等が受賞され、さらなる飛躍のきっかけとなるとともに、地域の活性化、  
地方創生にも貢献しています。

## 【地球市民賞の概要】

対象となる団体	公益性の高い国際文化交流活動を行っている日本国内の団体 ※団体の法人格は問いませんが、地方自治体は対象となりません。
活動例	<ul style="list-style-type: none"><li>● 日本と海外をつなぐ文化・芸術の交流を通じて、豊かで活気のある地域やコミュニティをつくる活動</li><li>● 外国人の多様な文化(言語教育を含む)を理解、尊重し、ともに豊かで活気のある地域やコミュニティを築いていこうとする活動</li><li>● 共通の関心や問題意識を通じ、日本と海外の市民同士の連携や相互理解を深める活動</li></ul> など
選考のポイント	<ol style="list-style-type: none"><li>1 先進性 国際文化交流の一つのモデルとして、他の団体の参考となる活動であること</li><li>2 独自性 独自のアイデアを活かした活動であること</li><li>3 継続性 少なくとも3年以上、着実な活動をしてきていること</li><li>4 将来性 今後も着実に活発な活動が継続されることが見込まれること</li><li>5 社会に対する影響力 社会的な広がりや浸透力のある活動であること</li></ol>

## 応募方法

全国より、自薦/他薦にて広く募集します。※他薦の場合、推薦者名は公表いたしません。

下記ウェブサイトより応募ガイドライン・応募用紙（Microsoft Word形式、PDF形式）をダウンロードし、必要事項をご記入の上、Eメール（chikyushimin@jpf.go.jp）にてご応募ください。（Eメールでの送付が難しい場合には、郵送にてご送付ください。）

応募ガイドライン・応募用紙

<https://www.jpf.go.jp/j/about/citizen/guideline/>



件数 お一人／一団体、最大5件までご応募いただけます。

締切 2025年7月23日（水）〈郵送の場合は当日消印有効〉

お問い合わせ：送付先

国際交流基金 ブランド推進部 広報課 地球市民賞担当  
〒160-0004 東京都新宿区四谷1-6-4 四谷クルーセ  
Tel 03-5369-6075  
Eメール chikyushimin@jpf.go.jp

※1団体につき1件の応募・推薦とします。

事業単位ではなく、団体としてご応募、ご推薦ください。

※応募用紙は2025年度版をお使いください。

※応募用紙受理後、国際交流基金より、メール等で受領のご連絡をお送りします。

※応募用紙をダウンロードできない場合は、地球市民賞担当までご連絡ください。

※応募団体の財務諸表及び選考の参考となる資料があれば添付してください。

ご提出いただいた書類及び資料は返却いたしませんので、ご了承ください。

## 受賞団体の発表

2026年1月中に国際交流基金ウェブサイトにて発表します。

※ご応募いただいた皆様には、Eメールまたは書面にて結果を通知いたします。

※授賞式は、2026年2月に開催を予定しております。

受賞団体には、正賞（賞状）ならびに副賞（1件200万円）を贈呈いたします。

## 選考のプロセス



※国際交流基金が委嘱する有識者からなる選考委員会により、受賞団体を決定いたします。



## 東九条マダン実行委員会

### まつりを通して多文化共生を体現 地道な活動の継続が未来を創る

(京都府京都市)



#### ■授賞理由

東九条マダン実行委員会は、初開催の1993年以降毎年開催されているまつり「東九条マダン」の主催団体である。立場・ルーツ・文化などの面で多様性に富んだ人々が一年に1度、集い、繋がり、自己を表現するまつり「東九条マダン」は多文化共生のひとつのあり方を体現しており、中でも和太鼓と朝鮮半島の伝統的な打楽器が融合した演目は参加者に感動を与え、異なる文化が対話しあうことの重要性を示し続けている。年に1度のまつりではあるが、活動の拠点である京都市南区東九条地域に根差すことを常に重視し、絆を深めてきた東九条マダン実行委員会が、今後も地域・社会に対して有意義な経験を地道に提供し、国際的な市民社会の発展に寄与することを期待して本賞を授与する。

#### ■受賞団体のコメント

東九条マダンは一年に1日だけのまつりです。それでも30年以上続けるのは大変なことでした。東九条の地域のみならず、京都市・京都府や諸団体、そして多くの方々の理解や支援があったからこそ今があります。今回の受賞は、地道に継続してきたことの意義が評価されたのだと一同喜んでおります。一年にたった1日であっても、人々が対等に出会い認め合う場をつくることができれば世の中は変わっていくのだ、という信念でこれからも続けていきたいと思ひます。

#### 公益財団法人

## 佐賀県国際交流協会

### 心の国境をなくし、 外国人とともに世界に開かれた佐賀をめざす

(佐賀県佐賀市)



#### ■授賞理由

佐賀県国際交流協会は1990年設立以来、長年にわたり国際交流を促進してきた。近年は国際交流活動で培われた知見を生かしつつ、県内外外国人住民の増加を背景に多文化共生をテーマに活動をシフトし、高い専門知識や倫理意識が求められる医療通訳や災害時の多言語支援でも高い成果を上げている。2019年には「さが多文化共生センター」を開設し、外国人・日本人双方の相談対応を行うなど、佐賀県における多文化共生推進に欠かせない存在。同協会の「心の国境をなくそう!」をスローガンに地域社会と連携し、外国人の急増に対応しながら共生社会を推進する姿勢は、他地域の模範となる取り組みと考え、本賞を授与する。

#### ■受賞団体のコメント

この度はこのような素敵な賞をいただき、ありがとうございました。患者に温かく寄り添い、活動してくださっている医療通訳サポーターの皆さんをはじめ、日本語支援や災害時支援、相談業務へのアドバイスなど、日頃から私たちの活動を応援してくださっている関係者の皆さんとこの喜びを分かち合いたいと思ひます。今回の受賞を励みに、今後も「誰一人取り残さない」佐賀県をめざし、皆さんと共に進んでいきたいと思ひます。

#### 特定非営利活動法人

## MIYAZAKI C-DANCE CENTER

### 逆さのまなざしで切り拓く ダンスによる価値創造と心躍る交流体験

(宮崎県宮崎市)



#### ■授賞理由

2006年に宮崎大学教育文化学部舞踊学研究室で結成されたダンスカンパニー「んまつーポス」が運営するMIYAZAKI C-DANCE CENTERは、内外での創作上演と共に、地域に創造的でユニークな身体活動とダンス体験を提供している。宮崎に根ざして国際ダンスキャンプや国際ダンスフェスティバルを重ね、地元住民と海外アーティストとの交流の機会をつくっている。教育の知見で学校の身体表現教育も支援。子どもや教員に大好評のプログラムは国境も超えた。2019年には、保育園の体育館兼劇場「透明体育館きらきら／国際こども・せいねん劇場みやざき」を開設。コロナ禍など困難にも名前通りの逆転思考で、創造活動と経営、地域貢献と国際交流を明るく両立する地球市民活動は大いに示唆に富む。

#### ■受賞団体のコメント

字幕がいらないノンバーバルな交流の力が、国や文化、世代の壁を軽やかに越える瞬間を、私たちは目撃し続けてきました。“空を見上げれば世界がつながっている”と誰もが感じられる国際ダンスフェスティバルを通じ、宮崎市を、ダンスの未来で溢れる「創作ダンスの聖地」にします。この名誉ある国際交流基金地球市民賞の受賞を、すべての地球市民と共に喜び、さらなる一歩へジャンプしていきたい!

## 最近の受賞団体(2018～2023)

過去の  
受賞団体



年度	団体名	
2023	特定非営利活動法人 WELgee	日本にやってくる難民のキャリアや人生の目標に基づく教育プログラムの提供、雇用企業とのマッチングや就労後の伴走支援を通じて、誰もが未来を描ける日本をめざし活動を行う。WELgeeのアプローチは難民支援のみならず、在留外国人支援や国際理解活動においても示唆に富むものである。
	社会福祉法人 国際視覚障害者援護協会 (IAVI)	アジアをはじめとする発展途上国から視覚障害のある若者たちを日本に招き、盲学校への留学を支援している。自立や社会参加が困難な国々の視覚障害者に対して、未来を切り拓くきっかけを提供するとともに、発展途上国の障害者理解の増進にも貢献してきた。
	特定非営利活動法人 ABC ジャパン	日系ブラジル人当事者によって設立され、神奈川県鶴見区を中心に教育・進学・就労等、外国人住人の人生に寄り添った幅広い支援を展開。在住外国人自らが地域の中で積極的に活動し、「共に鶴見に暮らす住人(鶴見人)」という共通点で地域とオープンな関係性を築いており、今後他地域のモデルとなることが期待される。
2022	特定非営利活動法人 アレッセ高岡	外国ルーツの青少年への学習支援事業に加え、地域の人々が互いの違いを理解・尊重し、多様性を真に受けとめる市民性教育プログラムを展開。実務的に課題の多い外国人散在地域において、多文化共生社会の実現に向け努力を重ね、地域活性化にも貢献している。
	特定非営利活動法人 Peace Culture Village	世界から広島を訪れる人々への平和ガイドや対話プログラムを提供。XRといったテクノロジーの活用や、若い世代が有償で仕事として参画するしくみを構築するなど、国際交流活動のあり方にも新たな可能性を示している。
	特定非営利活動法人 地域サポートわかさ	那覇市若狭地域で住民主体のコミュニティ形成を担う。地域住民の自発的な活動を後押しする一方、アーティストとの協働や細やかな情報発信を行う。近年は増加するネパール人住民の活動も支援し、地域における多文化共生の実現にも貢献している。
2021	一般社団法人 エル・システムジャパン	南米ベネズエラ発祥の音楽教育プログラム「エル・システム」を日本で展開。東日本大震災被災地等を中心に、音楽を通じて子どもたちが世界とつながり、自分に自信を持つよう工夫された活動であり、同時に地域活性化にも貢献している。
	学校法人 ムンド・デ・アレグリア学校	静岡県浜松市に数多く来日する南米からの子どもたちに向けて、日本と母国の両方に対応した教育を受けられる外国人学校「ムンド・デ・アレグリア学校」を設立。国籍や年齢等にかかわらずダイバーシティ社会実現への一助となっている。
	特定非営利活動法人 名古屋難民支援室	名古屋難民支援室は、東海地域に暮らす難民が法的に保護され、安定して自立した生活を送れるよう支援を行っている。食料支援や地域での定着支援など、難民一人ひとりに寄り添いながら、より良い多文化共生社会の実現にも貢献している。
2020	高田馬場さくらクリニック	外国にルーツを持つスタッフと協働し、外国人住民が気軽に通えるまちのクリニックを開院、運営。受診者に寄り添い、外国人住民の予防医療やスタッフの人材育成にも尽力。持続性のある多文化共生への貢献を行っている。
	特定非営利活動法人 海外に子ども用車椅子を送る会	利用されなくなった子ども用車椅子を回収し、整備している。活動を支える老若男女の約半数は日本で生活する外国人であり、活動が国際交流の場にもなっている。届けた後の整備など、継続的な取り組みの体制をしっかりと構築している。
	特定非営利活動法人 こえとことばとこころの部屋	「生きることは表現」をテーマに、労働者のまち大阪市西成区釜ヶ崎で、様々な背景の人々に出会いと表現の場を開き、社会との関わりを後押しする。海外の同種の団体やアーティストとの交流にも活動の幅を広げている。
2019	四日市市立西笹川中学校多文化共生サークル	西笹川中学校は外国にルーツを持つ生徒が3割を占める。「多文化共生サークル」は中学生が主体となって防災行事や夏祭り、文化祭等、地域のイベントに密接に関わりながら、多文化共生のまちづくりに参画している。
	特定非営利活動法人 ハート・オブ・ゴールド	「心身ともに健全な育成」という理念に基づき、被災地や紛争地および開発途上国の子どもたち、障がい者、貧困層の人々に対して、体育教育支援や養護施設・青少年人材の育成を目的とした日本語教室の運営、県内各所と連携した交流を行っている。
	国際児童・青少年演劇フェスティバル おきなわ実行委員会	国際児童・青少年演劇フェスティバルおきなわ（通称「りっかりっか＊フェスタ」）は、豊かな芸術体験は「ヌチグスイ＝命の薬」との考えから、子どもたちや地元の人々が独創的で上質な世界中の舞台公演に気軽に触れる機会を長年提供している。
2018	小松サマースクール実行委員会	石川県小松市で毎年開催される高校生のためのサマースクール。日米の大学生が企画や運営のほぼ全てを行っている。高校生たちが多様な年代や文化背景を持つ人たちと出会い、国際交流の価値に触れる取り組みとなっている。
	一般社団法人 グローバル人材サポート浜松	独自のカリキュラムや教材を開発し、介護の現場で必要な日本語や技能の指導を行い、定住外国人の就労支援を行なっている。学生の社会貢献活動の支援や、浜松市内の介護事業者の組合活動など、多岐にわたる活動を行っている。
	特定非営利活動法人 パンゲア	ICT技術を使い、世界中の子どもたちが出会い、コミュニケーションできるプラットフォームを運営している。「ピクトン」という絵文字や機械翻訳「げんごろう」を開発、使用言語による序列化を起こさない姿勢を貫いている。

## 近畿地方

### 〈三重県〉

- 四日市市立西笹川中学校多文化共生サークル[2019]
- 財団法人 大内山塾 [1988]

### 〈滋賀県〉

- 東近江大風保存会 [2001]

### 〈京都府〉

- 東九条マダン実行委員会[2024]
- 特定非営利活動法人 バンゲア[2018]
- 特定非営利活動法人 テラ・ルネッサンス[2012]
- 特定非営利活動法人  
ジャパン・コンテンツボラリー・ダンス・ネットワーク(JCDN) [2006]
- 財団法人 母と学生の会 京都支部  
「国際女子留学生センター」[1987]
- 公益財団法人 京都「国際学生の家」[1985]

### 〈大阪府〉

- 特定非営利活動法人 こえとことばとこころの部屋 [2020]
- 公益財団法人 山本能楽堂 [2015]
- 社会福祉法人 こころの家族  
特別養護老人ホーム故郷の家[2001]
- 特定非営利活動法人 多文化共生センター  
(旧・外国人地震情報センター) [1995]
- 特定非営利活動法人 関西国際交流団体協議会[1994]
- 公益財団法人 アジア協会アジア友の会 [1986]

### 〈兵庫県〉

- 特定非営利活動法人 神戸定住外国人支援センター[2015]
- 特定非営利活動法人 プラス・アーツ [2014]
- 特定非営利活動法人 ダンスボックス[2010]
- 特定非営利活動法人 芸術と計画会議(C.A.P.)[2007]
- 特定非営利活動法人 たかとりコミュニティセンター[2002]
- 神戸クロスカルチュラルセンター[1991]
- 公益財団法人 PHD協会[1988]

### 〈奈良県〉

- 特定非営利活動法人 なら国際映画祭実行委員会 [2014]
- 一般財団法人 たんばぼの家[1994]

## 中国地方

### 〈鳥取県〉

- 特定非営利活動法人 鳥の劇場 [2011]
- 智頭町活性化プロジェクト集団 [1995]

### 〈島根県〉

- 特定非営利活動法人 あしふえ[2002]

### 〈岡山県〉

- 特定非営利活動法人 ハート・オブ・ゴールド [2019]

### 〈広島県〉

- 特定非営利活動法人 Peace Culture Village [2022]
- 広島アジア文化会館 [1988]

## 四国地方

### 〈徳島県〉

- 特定非営利活動法人 グリーンバレー[2009]

### 〈香川県〉

- 公益財団法人 セカンドハンド[2004]

### 〈愛媛県〉

- 特定非営利活動法人 えひめグローバルネットワーク[2007]

### 〈高知県〉

- Genki 青年会 [2005]
- 高知市立高知商業高等学校生徒会[2002]

## 九州地方

### 〈福岡県〉

- 特定非営利活動法人 アジア女性センター[2007]
- 特定非営利活動法人  
アジア・太平洋こども会議イン福岡[1992]

### 〈佐賀県〉

- 公益財団法人 佐賀県国際交流協会[2024]
- 玄海クラブ [2000]
- 特定非営利活動法人 地球市民の会[1989]

### 〈長崎県〉

- 長崎国際交流塾 [2004]
- 長崎県世界青年友の会(面白ちんぐ倶楽部) [1996]

### 〈熊本県〉

- 一般財団法人 熊本市国際交流振興事業団[2016]
- 特例財団法人 熊本たけのこ会 [1993]

### 〈大分県〉

- 国立大分工業高等専門学校  
足踏みミンボランティア部 [2012]

### 〈宮崎県〉

- 特定非営利活動法人 MIYAZAKI C-DANCE CENTER [2024]

### 〈鹿児島県〉

- 硫黄島地区会 [2016]
- 太鼓集団 蒲生郷太鼓坊主 [1997]
- 特定非営利活動法人 からいも交流 [1986]

### 〈沖縄県〉

- 特定非営利活動法人 地域サポートわかさ[2022]
- 国際児童・青少年演劇フェスティバル  
おきなわ実行委員会[2019]
- 特定非営利活動法人  
アメリジアンスクール・イン・オキナワ[2014]
- 琉球国祭り太鼓 [1999]

## 関東地方

### 〈茨城県〉

- 特定非営利活動法人 自然生クラブ[2009]
- 浅賀正治(個人) [2005]
- 「茨城アジア教育基金」を支える会[1992]
- 高萩市国際交流協会[1986]

### 〈栃木県〉

- 栃木高国際ボランティアネットワーク[2000]
- いっくら国際文化交流会 [1991]
- 学校法人 アジア学院 [1989]

### 〈群馬県〉

- 特定非営利活動法人 大泉国際教育技術普及センター[2008]
- からす川音楽集団 [1995]

### 〈埼玉県〉

- 芝園団地自治会[2017]
- 特定非営利活動法人 メイあさかセンター[1996]

### 〈千葉県〉

- 浦安市国際交流協会[1990]
- 財団法人 京葉教育文化センター[1987]

### 〈東京都〉

- 特定非営利活動法人 WELgee[2023]
  - 社会福祉法人 国際視覚障害者援護協会 (IAVI) [2023]
  - 一般社団法人 エル・システムジャパン [2021]
  - 高田馬場さくらクリニック [2020]
  - 特定非営利活動法人 海外に子ども用車椅子を送る会 [2020]
  - 特定非営利活動法人 Nagomi Visit[2017]
  - 特定非営利活動法人 Peace Field Japan [2015]
  - 特定非営利活動法人 難民支援協会[2012]
  - 特定非営利活動法人 かものはしプロジェクト[2011]
  - 特定非営利活動法人 アクション [2010]
  - 特定非営利活動法人 多文化共生センター東京 [2006]
  - 財団法人 おはなしきやらばんセンター [1999]
- ### 〈神奈川県〉
- 特定非営利活動法人 ABCジャパン [2023]
  - 特定非営利活動法人 黄金町エリアマネジメントセンター [2017]
  - 特定非営利活動法人 BankART1929 [2013]
  - 特定非営利活動法人 多言語社会リソースかながわ(MICかながわ)[2013]
  - 多文化まちづくり工房[2010]

## 中部地方

### 〈新潟県〉

- ミティラー美術館 [1998]
- アース・セレブレーション実行委員会[1994]

### 〈富山県〉

- 特定非営利活動法人アレッシェ高岡 [2022]
- スキヤキ・ミーツ・ザ・ワールド実行委員会 [2008]
- いなみ国際木彫刻キャンプ実行委員会[1999]
- 一般社団法人 富山県芸術文化協会[1990]
- 劇団文芸座 [1985]

### 〈石川県〉

- 小松サマースクール実行委員会[2018]
- 金沢を世界へひらく市民の会[1987]

### 〈福井県〉

- 武生国際音楽祭推進会議[2003]

### 〈長野県〉

- 社団法人 長野国際親善クラブ[1993]
- いいだ人形劇フェスタ実行委員会[1991]

### 〈岐阜県〉

- 特定非営利活動法人 ブラジル友の会[2011]
- アーティスト・イン・レジデンス  
「美濃・紙の芸術村」実行委員会 [2003]

### 〈静岡県〉

- 学校法人 ムンド・デアレグリア学校 [2021]
- 一般社団法人 グローバル人財サポート浜松 [2018]
- 特定非営利活動法人 浜松NPOネットワークセンター[2009]

### 〈愛知県〉

- 特定非営利活動法人 名古屋難民支援室[2021]
- 公益財団法人 豊田市国際交流協会[2001]
- とこなめ国際やきもの ホームステイ実行委員会[1997]

## 北海道

### 〈北海道〉

- 特定非営利活動法人  
雪合戦インターナショナル [2013]
- 特定非営利活動法人 S-AIR [2008]
- 特定非営利活動法人  
チェルノブイリへのかけはし[2005]
- 北方圏国際シンポジウム実行委員会[2003]
- 江差追分会 [2000]
- 札幌こどもミュージカル育成会 [1998]
- 北海道国際女性協会 [1989]
- 一般財団法人  
北海道国際交流センター[1985]

## 東北地方

### 〈青森県〉

- 特定非営利活動法人  
ジュニア・グローバル・トレーニングスクール[2006]

### 〈岩手県〉

- 陸前高田市国際交流協会〈理事長特別賞〉 [2011]
- 藤沢町国際交流協会 [1998]
- 財団法人 岩手国際理解推進協会[1992]

### 〈宮城県〉

- 国際交流協会ともだちin名取〈理事長特別賞〉 [2011]
- 特定非営利活動法人  
国際都市仙台を支える市民の会 (ICAS)[1997]

### 〈秋田県〉

- 秋田県国際交流をすすめる婦人の会「わびえ」[1995]

### 〈山形県〉

- 戸沢村国際交流協会 [2004]
- 特定非営利活動法人 IVY [1996]
- 置賜百姓交流会 [1993]
- 庄内国際交流協会 [1990]

### 〈福島県〉

- ノルデ・ハボン  
(コスキン・エン・ハボン開催事務局)[2016]
- 特定非営利活動法人  
ザ・ピープル〈理事長特別賞〉[2011]

